

*Pioneer*

マルチCD/MDコントロールCDチューナーアンブ

# DEH-P555

取扱説明書

**carrozeria**

目次 4ページ

# 安全のために必ずお守りください

## 絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



### 警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



### 注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意 (警告を含む) しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止 (やってはいけないこと) の内容です。



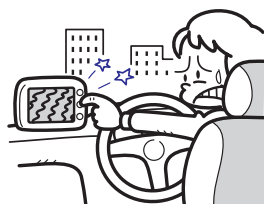
必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

# 警告

## [異常時の処置]

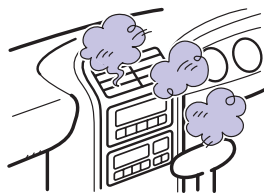
### 故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

### 異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

### ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

# 目次

## はじめに

- 1 各部のなまえ 6
- 2 バッテリー上がりを防ぐために 8
- 3 50枚型マルチCDプレーヤーの  
使用について 8

## ここだけ読めばすぐ使えます

- 1 聞きたいソース (音源) を選ぶ 10  
電源を切る
- 2 内蔵CDのふだんの操作 12  
CDを再生する  
曲を選ぶ  
早送り/早戻しをする  
音量を調節する  
CDを取り出す
- 3 ラジオのふだんの操作 14  
バンドを選ぶ  
放送局を選ぶ  
音量を調節する
- 4 マルチCDのふだんの操作 16  
CDを選ぶ  
曲を選ぶ  
早送り/早戻しをする  
音量を調節する

## 内蔵CD

### 内蔵CDでCDを聞く

- 1 モードの切り換えかた 18
- 2 同じ曲を繰り返し聞く 18
- 3 いつもと違う曲順で聞く 19
- 4 聞きたい曲をさがす 19
- 5 CD再生を一時停止する 20
- 6 CDのタイトルを表示させる 21

## ラジオ

### ラジオを聞く

- 1 複数の放送局を自動的に記憶させる 22
- 2 放送局を1局ずつ記憶させる 23
- 3 記憶させた放送局を呼び出す 23
- 4 放送局名を表示させる 24
- 5 放送局名を選ぶ 25

## マルチCD

### マルチCDでCDを聞く

(別売のマルチCDを組み合わせたときのみ)

- 1 聞きたいCDを直接選ぶ 26
- 2 モードの切り換えかた 27
- 3 同じ曲やCDを繰り返し聞く 28
- 4 聞きたい曲やCDをさがす 29
- 5 いつもと違う曲順で聞く 30
- 6 聞きたい曲だけ記憶させておく 31
- 7 記憶させた曲だけ再生する 32
- 8 記憶させた曲を1曲ずつ記憶から消す 33
- 9 記憶させた曲をCDごとに記憶から消す 33
- 10 CDのタイトルを記憶させる 34
- 11 CDのタイトルを表示させる 36
- 12 「CD TEXT」のタイトルや  
歌手名を表示させる 36
- 13 タイトルを見て聞きたいCDをさがす 38
- 14 CD再生を一時停止する 39
- 15 CDの音質を調整する 40

すぐに使いたいときは、  
ここをお読みください。

## 音の調節

### 音を調節する

1	お好みの音の空間に設定する	42
2	イコライザーカーブを選ぶ	43
3	オーディオ調節モードの切り換えかた	43
4	前後左右の音量バランスを調節する	44
5	お好みに合わせてイコライザー カーブを調節する	45
6	イコライザーカーブを細かく調節する	46
7	低音を調節する	47
8	高音を調節する	47
9	小音量時の音にメリハリをつける	48
10	サブウーファーを使う	49
11	各ソースの音量の違いをそろえる	50

## はじめに

内蔵CDでCDを聞く

ラジオを聞く

マルチCDでCDを聞く

音を調節する

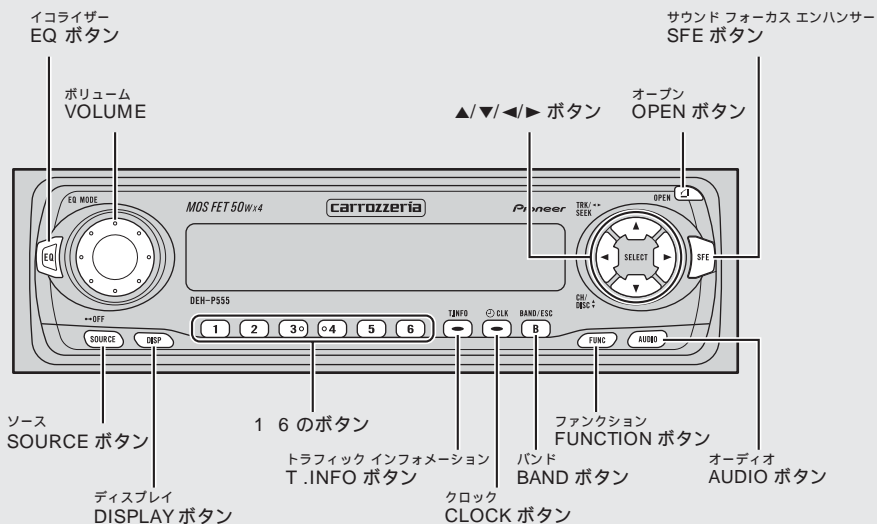
その他の機能と付録

## その他

### その他の機能と付録

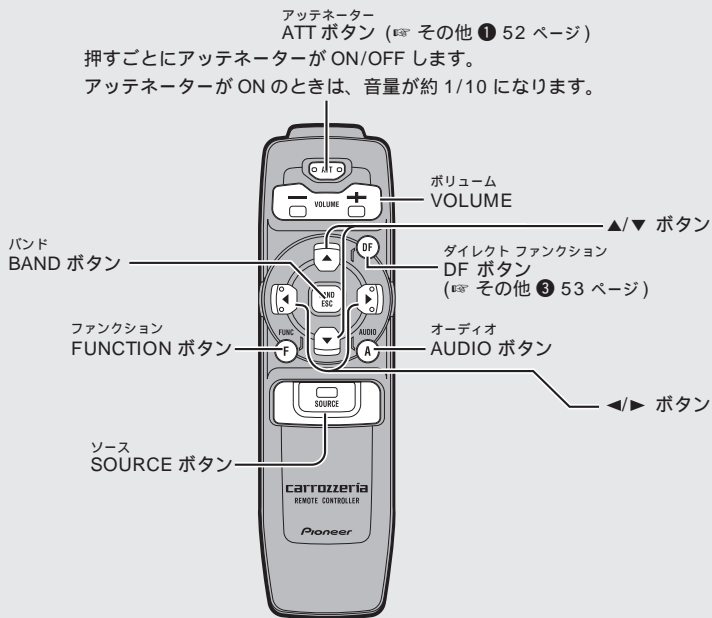
1	瞬時に音量を小さくする	52
2	時計を表示させる	52
3	よく使う機能を直接操作する	53
4	交通情報を受信する	54
5	初期設定モードの切り換えかた	55
6	時計を合わせる	55
7	外部機器の音声を聞く	56
8	外部機器の名称を入力する	57
9	夜間のディスプレイの 明るさを切り換える	57
10	リアの出力方法を変える	58
11	携帯電話のハンズフリー機能について	59
12	携帯電話の ミュート/アッテネート切り換え	59
13	TELスタンバイについて	60
14	ミュートとアッテネート機能について	61
15	CDの正しい使いかた	62
16	故障かな?と思ったら	64
17	こんなメッセージが表示されたら	66
18	保証書とアフターサービス	67
19	本機の操作の概要	68
20	おもな仕様	70

本体



## 別売のリモコン「CD-R660」について

別売のリモコン「CD-R660」で、本機を操作することができます。  
リモコンの取り扱いについては、リモコンの説明書をお読みください。



### メモ

別売のステアリングリモートコントロールユニット「CD-SR80」(以下、ステアリングリモコン)で本機を操作することもできます。ただし、この場合は、一部リモコンでは操作できない機能があります。ステアリングリモコンの操作のしかたや取り扱いについては、ステアリングリモコンの説明書をお読みください。

### DF ボタンについて

DF ボタンを押すと、ソースごとにあらかじめ記憶されている機能を直接操作することができます。内蔵 CD・マルチ CD・1 枚型 MD でポーズ、マルチ MD でリピート、ラジオで BSM、テレビで BSSM を操作することができます。(※ その他 ③ 53 ページ)

はじめに

2

## バッテリー上がりを防ぐために

### バッテリー上がりを防ぐためのご注意

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。

また、本機が電源OFFのときでも、車のエンジンを止めた状態で、長時間、車のエンジンスイッチをON (またはACC) にしないでください。バッテリーが上がる恐れがあります。

はじめに

3

## 50枚型マルチCDプレーヤーの使用について

### 50枚型マルチCDプレーヤーをご使用になる場合のご注意

本機では、50枚型マルチCDプレーヤーの取扱説明書に記載されている50枚型マルチCDプレーヤー特有の機能を操作することはできません。本機で操作できるのは、本書に記載されている機能のみです。





聞きたいソース (音源) に切り換えることができます。

### 1 ソースを切り換える

SOURCE ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

内蔵CD

テレビ (別売)

ラジオ (FM/AM)

1 枚型 MD (別売)

マルチ MD (別売)

マルチ CD (別売)

External  
(エクスターナルユニット) (別売)

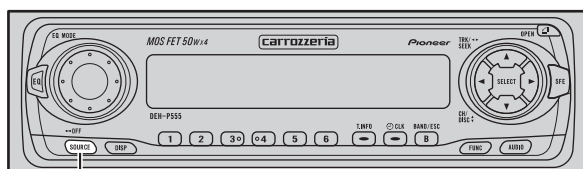
AUX (外部機器) (別売)

TEL スタンバイ

内蔵CDに戻る

### 2 電源を切る

SOURCE ボタンを 1 秒以上押す  
本機の電源が切れます。


 ソース  
 SOURCE ボタン

## メモ

接続していないソースには切り換わりません。CDやMDがセットされていないときは、そのソースには切り換わりません。

AUX (外部機器) の設定 (E書 其他 7 56 ページ) を ON にしないと、AUX には切り換わりません。TEL スタンバイの設定 (E書 其他 10 60 ページ) を ON にしないと、TEL スタンバイには切り換わりません。

本機の青リード線 (オートアンテナ) に車側のオートアンテナコントロール端子を接続している場合、ソースをラジオにすると車に装備されているオートアンテナがのびます。

External (エクスターナルユニット) とは、本機がソースとして対応していないパイオニア製品 (将来発売される製品など) の基本的な機能をコントロールできるように用意している特別なソースです。本機で External (エクスターナルユニット) としてコントロールできる製品は 1 台だけです。

## テレビ、1枚型MD、マルチMDを接続したときは

操作のしかたは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

組み合わせ例

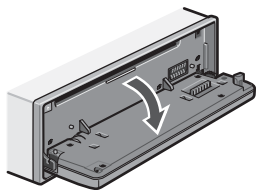
ソース	製品の型番
テレビ	「AVX-P7700W」
1枚型MD	「MDS-P7000」
マルチMD	「MD-P100II」

上記の製品の取扱説明書では、本機以外の製品を例にして、操作説明が行われている場合があります。その製品と対応しているボタンで操作を行ってください。

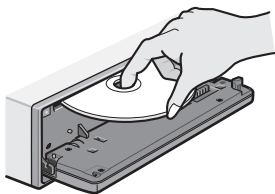
ここだけの操作で、CDを聞くことができます。

## 1 CDを再生する

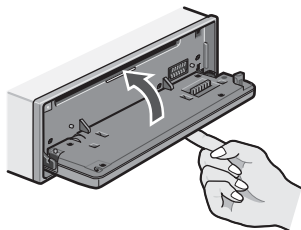
OPEN ボタンを押して、フロントパネルを開ける



タイトル面を上にして、CD挿入口に差し込む



フロントパネルを閉める



CDの再生が始まります。

### ご注意

CDシングル(8 cm CD)もアダプターなしでセットできます。アダプターは絶対使用しないでください。

## 2 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



曲番号 再生経過時間

### 選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し 続けている間

### メモ

CDをセットしたまま電源をOFFにしたり、他のソース(ラジオやマルチCDなど)に切り換えることもできます。(☞ここだけで①10ページ)  
CD挿入口には、CD以外のものを絶対に入れないでください。故障の原因となります。

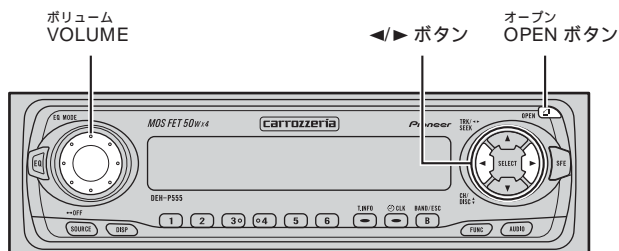
早送り/早戻しをする

音量を調節する

CDを取り出す

トラックサーチ / 早送り/早戻し / 音量調節

ここだけ読めば  
すぐ使えます



### 3 音量を調節する

VOLUMEを回す

右回し：大きくするとき  
左回し：小さくするとき



0 ~ 40の範囲で調節できます。

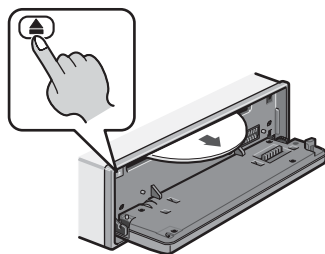
約4秒間、音量が表示されます。

### 4 CDを取り出してCD再生をやめる

フロントパネルを開けてから (E37 手順1)

▲ボタンを押す

CDが出てきます。



出てきたCDはすぐに取り出して、保管してください。

フロントパネルを閉める (E37 手順1)

CD挿入口にゴミやホコリが入るのを防ぐためフロントパネルを閉めてください。

ここだけで **3** ラジオのふだんの操作

バンドを選ぶ

放送局を選ぶ

ここだけの操作で、ラジオを聞くことができます。

**1** ソースを  
ラジオにする

SOURCE ボタンを押す

ラジオを受信します。



ステレオ放送を受信すると表示されます。

**2** バンドを  
選ぶ

BAND ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のようにバンドが切り換わります。



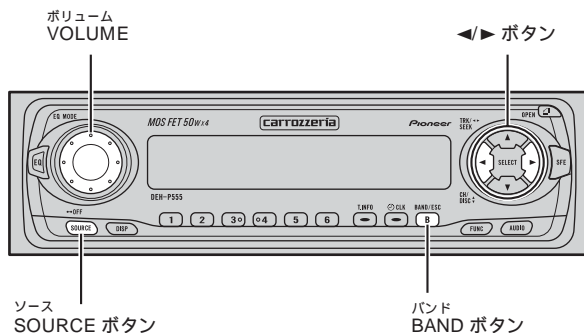
F1 (FM1) F2 (FM2)

A2 (AM2) A1 (AM1)

バンドごとに放送局を6局ずつ記憶できます。(※ ラジオ①② 22、23ページ)

バンド1とバンド2を切り換えて使うことでより多くの放送局を記憶できます。例えば、バンド1にはふだんよく聞く放送局を記憶させておきます。旅行先など、どんな放送局があるのか知らない地域に行ったときに、バンド2に切り換えてBSMを使うと、バンド1に記憶させた放送局はそのまま使いになれます。

ここだけ読めば  
すぐ使えます



### 3 放送局を 選局する

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 高い周波数の放送局を選局するとき
- ◀ : 低い周波数の放送局を選局するとき



#### 選局方法の使い分け

手動選局 (1ステップずつ)	0.5秒未満
自動選局	0.5秒以上

0.5秒以上押し続けている間、途中の放送局をとばすことができます。ボタンを離れたところから自動選局を開始します。電波の強い放送局を選局するには、自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには、手動選局をおすすめします。

### 4 音量を 調節する

VOLUMEを回す

- 右回し : 大きくするとき
- 左回し : 小さくするとき



0 ~ 40の範囲で調節できます。

約4秒間、音量が表示されます。

### 5 ラジオの 受信をやめる

他のソースに切り換えるか、電源OFFにする (☞ ここだけで① 10ページ)

ここだけの操作で、マルチCDプレーヤーでCDを聞くことができます。

## 1 ソースを マルチCDにする

SOURCE ボタンを押す

マルチCDの再生が始まります。



## 2 聞きたいCDを 選ぶ

▲または▼ボタンを押す

▲ : 次のCDを選ぶとき

▼ : 前のCDを選ぶとき



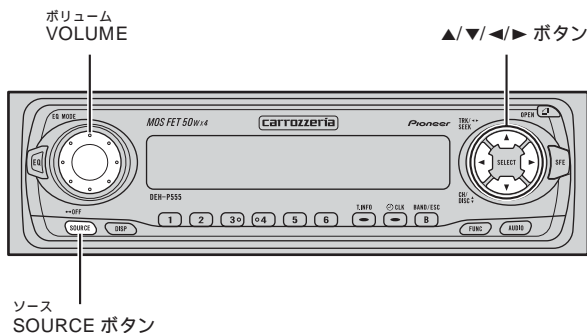
CD番号

### メモ

マルチCDが準備動作 (CDの有無の確認やCDの情報の読み込みなど) をしている場合があります。このとき、ソースをマルチCDに切り換えると“READY”が表示されます。

マルチCD再生中にマルチCDからマガジンを取り出すと、“NO MAG”が表示されます。





### 3 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



曲番号 再生経過時間

#### 選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し 続けている間

### 4 音量を 調節する

VOLUME を回す

- 右回し : 大きくするとき
- 左回し : 小さくするとき

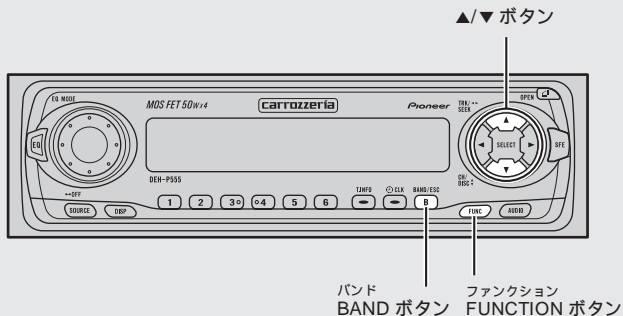


0 ~ 40の範囲で調節できます。

約4秒間、音量が表示されます。

### 5 マルチCD再生を やめる

他のソースに切り換えるか、電源OFFにする (※ ここだけで① 10ページ)



内蔵CD  
1

## モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

### ファンクションモードの切り換え

#### 1 ファンクションモードを切り換える

FUNCTION ボタンを押すボタンを押すごとに次のように切り換わります。

リピートモード (内蔵CD②)

ランダムモード (内蔵CD③)

スキャンモード (内蔵CD④)

ポーズモード (内蔵CD⑤ 20 ページ)

リピートモードに戻る

#### メモ

ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

内蔵CD  
2

## 同じ曲を繰り返し聞く

トラックリピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞くことができます。

#### 1 リピートモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ (内蔵CD①)



#### 2 リピート再生をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



今聞いている曲を繰り返し再生します。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



リピート再生中に表示されます。

内蔵CD


3

## いつもと違う曲順で 聞く

ランダム再生

選曲をCDプレーヤーにまかせて、いつもと違う曲順（ランダム）で再生することができます。

### 1 ランダムモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ  
( 内蔵CD①)



### 2 ランダム再生をONにする

▲ ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



次の曲から、ランダムに選曲します。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ランダム再生中に表示されます。

内蔵CD


4

## 聞きたい曲をさがす

スキャン再生

曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。

### 1 スキャンモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ  
( 内蔵CD①)



### 2 スキャン再生を始める

▲ ボタンを押す



曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生中に表示されます。

### 3 聞きたい曲が再生されたら スキャン再生をOFFにする

確認

ファンクションモードが解除されていたら、手順1の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生をOFFにしてください。

スキャンモードのときに▼ボタンを押す

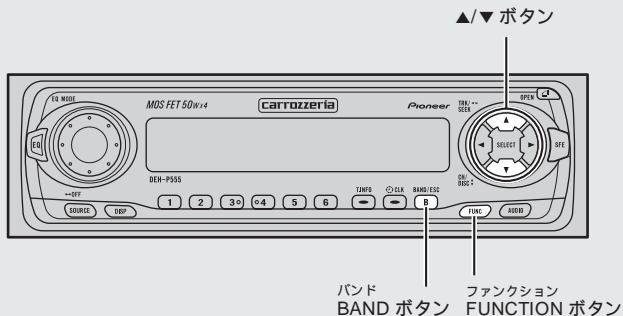


BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

スキャン再生を始めた曲まで戻るとスキャン再生は解除されます。

内蔵CDでCDを聞く



内蔵CD  
5

## CD再生を一時停止する

ポーズ

CD再生を一時停止することができます。

### 1 ポーズモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ  
(内蔵CD 18 ページ)

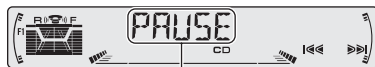


### 2 CD再生を一時停止する

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで再生)



BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



一時停止中に表示されます。

# CDのタイトルを表示させる

## ディスクタイトル表示

CDのタイトルを表示させることができます。

### タイトル表示について

タイトル表示は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

タイトルの記憶のしかた (E3 マルチCD⑩ 34 ページ)、タイトルの表示のしかた (E3 マルチCD⑪ 36 ページ) は、マルチCDと同じです。

タイトルは10文字まで入力できます。

内蔵CDのタイトルは、48枚分の記憶ができます。

48枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

タイトルの記憶は、CDごとに行われます。CDを取り出しても消えません。

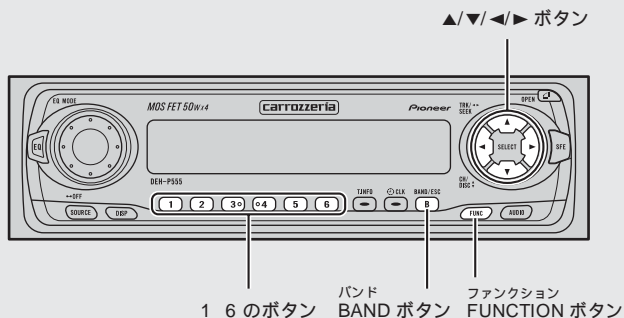
本機の内蔵CDは「CD TEXT」(E3 マルチCD⑫ 36 ページ)には対応していませんので、「CD TEXT」を再生している場合でも、通常のCDと同様に好みのタイトルを入力して記憶・表示させることができます。

### マルチCDを組み合わせる場合

タイトルを記憶させたCDをマルチCDにセットしたときは、ディスプレイにタイトルを表示させることができます。

マルチCDを組み合わせると、最大100枚分のタイトルを記憶することができます。

「CD TEXT」を「CD TEXT」に対応しているマルチCDで再生している場合、「CD TEXT」にあらかじめ収録されているタイトルが表示され、好みのタイトルを入力することはできません。(内蔵CDで再生中に記憶させたタイトルを表示させることはできません。)

ラジオ  
1

## 複数の放送局を自動的に記憶させる

BSM

受信状態の良い放送局をさがして、自動的に1～6のボタンに記憶させることができます。

## 1 記憶させるバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す  
(☞ ここだけで④ 14ページ)

## 2 BSM モードにする

FUNCTION ボタンを押す



## 3 BSM を始める

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで途中解除)



記憶動作中に点滅します。

記憶が終わると点滅が止まり、1のボタンに記憶した放送局を受信します。

BAND ボタンを押して、BSM モードを解除してください。



受信中の記憶番号

## メモ

受信状態の良い放送局が、6局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。  
BSMとは、Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー)の略です。  
記憶させた放送局を呼び出すには(☞ ラジオ④) BSMモードは、約30秒間何も操作しないと、自動的に解除されます。

## 放送局を1局ずつ記憶させる

プリセットメモリー

1～6のボタンに、お好みの放送局を、1局ずつ手動で記憶させることができます。

### 1 記憶させるバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す

(☞ ここだけで③ 14ページ)

### 2 記憶させたい放送局を選局する

◀または▶ ボタンを押す

(☞ ここだけで③ 15ページ)

### 3 記憶させる

1～6のボタンの1つを2秒以上押す



押したボタンの番号(記憶番号)が点滅します。



記憶が終わると点滅が終わり、押したボタンに受信中の放送局が記憶されます。

#### メモ

記憶させた放送局を呼び出すには (☞ ラジオ③)

## 記憶させた放送局を呼び出す

プリセットチューニング

記憶させた放送局は、簡単に呼び出すことができます。

### 1 記憶させたバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す

(☞ ここだけで③ 14ページ)

### 2 記憶させた放送局を呼び出す

記憶させた放送局を直接呼び出す

1～6のボタンの1つを押す

記憶させた放送局を順番に呼び出す

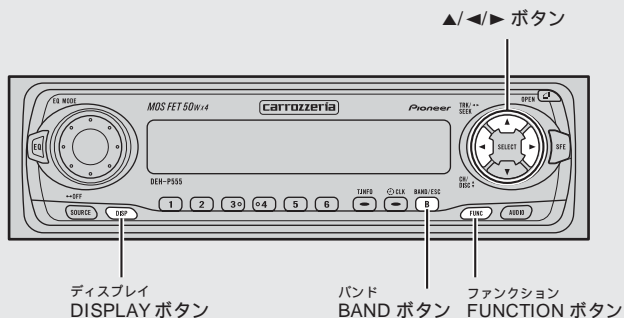
▲または▼ ボタンを押す

▲ : 次の記憶番号の放送局を呼び出すとき

▼ : 前の記憶番号の放送局を呼び出すとき



受信中の記憶番号

ラジオ  
4

## 放送局名を表示させる

## 放送局名表示

受信周波数以外に、放送局名選択で選んだ放送局名などを表示させることができます。

## 1 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す

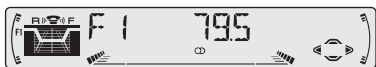
ボタンを押すごとに表示が切り換わります。

放送局名表示



記憶された放送局名が表示されます。

受信周波数表示



放送局名表示に戻る

## メモ

放送局名が記憶されていない周波数は、“NO DATA”と表示されます。



受信している放送局に合わせて、表示する放送局名を選ぶことができます。

### 放送局名について

同じ周波数でも、地域によって受信する放送局は違うことがあります。(例: FM 80.0MHz を使用している放送局は「TOKYO FM」「FM青森」「FM福岡」など複数あります。) 本機には、あらかじめ放送局名が記憶されています。ディスプレイに表示されている放送局名が受信している放送局名と異なるような場合は、放送局名を変更して表示することができます。

## 1 バンドを選ぶ

BAND ボタンを押す  
( ここだけで③14ページ)

## 2 変更したい放送局を選択する

◀または▶ ボタンを押す  
( ここだけで③15ページ)

## 3 放送局名選択モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押す



約2秒間表示されます。

## 4 放送局名を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 次の放送局名を選ぶとき
- ◀ : 前の放送局名を選ぶとき



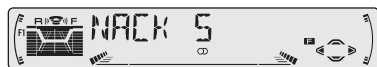
受信中の周波数に該当する放送局名が点滅します。

### 注意

本機に登録されていない放送局名は選べません。

## 5 放送局名を変更する

▲ ボタンを押す



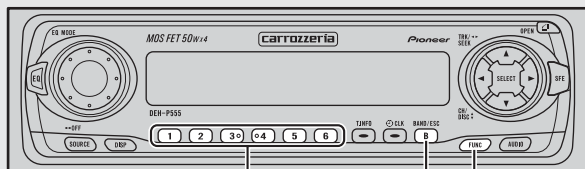
BAND ボタンを押して、放送局名選択モードを解除してください。

### メモ

選んだ周波数に該当する放送局名が登録されていないと、「NO DATA」と表示されます。

放送局名を表示させたくないときは、「-----」(全て空白)を選んでください。

パイオニア製のFMモジュレータータイプのマルチCD(「CDX-FM653など」)をお使いの方は、モジュレーター周波数に合わせると、放送局名を「FM M-CD」に変更して表示することができます。パイオニア製のTVをFMモジュレータでお使いの方は、モジュレーター周波数に合わせると、放送局名を「FMTV SOUND」に変更して表示することができます。



1 6 のボタン      バンド      ファンクション  
BAND ボタン      FUNCTION ボタン

マルチCD  
1

## 聞きたいCDを直接選ぶ

ダイレクトサーチ

聞きたいCDにワンタッチで切り換えることができます。

### 1 聞きたいCDを選ぶ

1 ~ 6 のボタンを押す

2秒未満：1 ~ 6 枚目のCDを選ぶとき

2秒以上：7 ~ 12 枚目のCDを選ぶとき



CD 番号

## モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

## ファンクションモードの切り換え

## 1 ファンクションモードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す  
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

リピートモード (☞ マルチCD ② 28 ページ)

タイトルリストモード  
(☞ マルチCD ③ 38 ページ)

ランダムモード (☞ マルチCD ⑤ 30 ページ)

スキップモード (☞ マルチCD ④ 29 ページ)

ITS再生モード (☞ マルチCD ⑦ 32 ページ)

ポーズモード (☞ マルチCD ⑬ 39 ページ)

COMP切り換えモード  
(☞ マルチCD ⑮ 40 ページ)

リピートモードに戻る

## メモ

ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

## 詳細設定モードの切り換え

## 1 詳細設定モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押す

## 2 詳細設定モードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す  
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

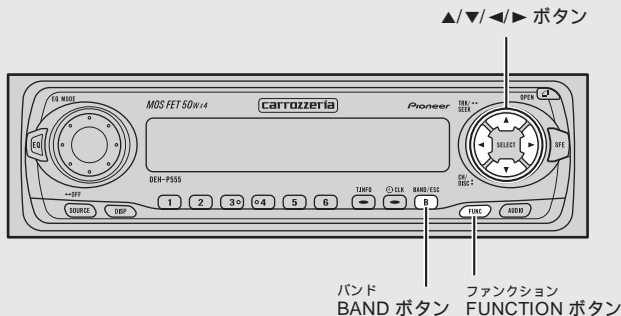
タイトル入力モード  
(☞ マルチCD ⑩ 34 ページ)

ITS入力モード (☞ マルチCD ⑥ 31 ページ)

タイトル入力モードに戻る

## メモ

詳細設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。  
「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など) で「CD TEXT」を再生しているときは、タイトル入力モードに切り換わりません。(「CD TEXT」にあらかじめ収録されているタイトルは変更できません。)



マルチCD  
3

## 同じ曲やCDを繰り返し聞く

### リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞いたり、1枚のCDを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

#### 再生範囲について

再生範囲（繰り返し聞く範囲）は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
トラックリピート	再生中の曲を繰り返し再生します。
ディスクリピート	再生中のCDを繰り返し再生します。
マルチCDリピート	マルチCDにセットされているすべてのCDを通して再生します。(通常はこのモードにしておきます。)

## 2 再生範囲を切り換える

◀または▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



TRK (トラックリピート)

DSC (ディスクリピート)

MCD (マルチCDリピート)

TRKに戻る

## 1 リピートモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

( マルチCD ② 27 ページ)



BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



選んだ再生範囲が表示されます。

トラックリピートのときは“RPT ”、ディスクリピートのときは“DISC”が表示されます。

今聞いているCDの、曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。また、すべてのCDの、1曲目の始めの部分だけを次々に聞くこともできます。

## 1 リpeatモードにして 再生範囲を選ぶ (E5 マルチCD 3)

聞きたい曲をさがすとき

◀または▶ ボタンを押してディスク  
リピートにする

再生中のCDの全曲を、約10秒ずつ再生  
できます。

聞きたいCDをさがすとき

◀または▶ ボタンを押してマルチCD  
リピートにする

マルチCDのマガジン内すべてのCDの1曲  
目だけを、約10秒ずつ再生できます。

## 2 スキャンモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(E5 マルチCD 27 ページ)



## 3 スキャン再生を始める

▲ ボタンを押す



曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動  
的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生中に表示されます。

表示	再生範囲
DSCN	ディスクリピート
SCAN	マルチCDリピート

## 4 聞きたい曲 (CD) が再生されたら スキャン再生をOFFにする

確認

ファンクションモードが解除されていたら、手順  
2の操作を行ってもう一度スキャンモードにして  
から、スキャン再生をOFFにしてください。

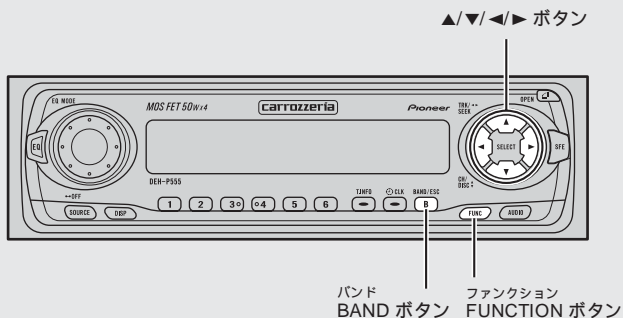
スキャンモードのときに▼ボタンを押す



BAND ボタンを押して、ファンクションモード  
を解除してください。

メモ

スキャン再生を始めた曲 (またはCD) まで戻ると、  
スキャン再生は解除されます。  
トラクラリピートのときに、スキャン再生をONに  
すると、再生範囲がディスクリピートに切り換わ  
りスキャン再生します。



## マルチCD 5 いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲をマルチCDにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。

**1** リピートモードにして再生範囲を選ぶ (☞ マルチCD ② 28 ページ)

選んだ再生範囲内でランダム再生が行われます。

**2** ランダムモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ  
(☞ マルチCD ② 27 ページ)



**3** ランダム再生をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



次の曲から、ランダムに選曲します。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ランダム再生中に表示されます。

表示	再生範囲
DRDM	ディスクリピート
RDM	マルチCDリピート

### メモ

トラックリピートのときに、ランダム再生をONにすると、再生範囲がディスクリピートに切り換わりランダム再生します。

記憶させた曲だけ再生する (☞ マルチCD⑦ 32ページ) ために、あらかじめ聞きたい曲をマルチCDに記憶させておきます。

## ITSについて

ITSとは、Instant Track Selection (インスタントトラックセレクション) の略です。

ITSは、聞きたい曲だけを記憶させておき、それを再生する (☞ マルチCD⑦ 32ページ) 機能です。

曲の記憶はCDごとに行われます。CDを入れ替えても、そのCDの記憶は消えません。

CD1枚につき24曲まで記憶できます。(25曲以上収録されているCDでは、25曲目以降に収録されている曲は記憶できません。)

ITSは、タイトル (☞ マルチCD⑩ 34ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

## 1 記憶させたいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す  
(☞ ここだけで④ 16ページ)

## 2 ITS入力モードにする

FUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ  
(☞ マルチCD② 27ページ)



## 3 記憶させたい曲を選ぶ

◀または▶ボタンを押す  
(☞ ここだけで④ 17ページ)

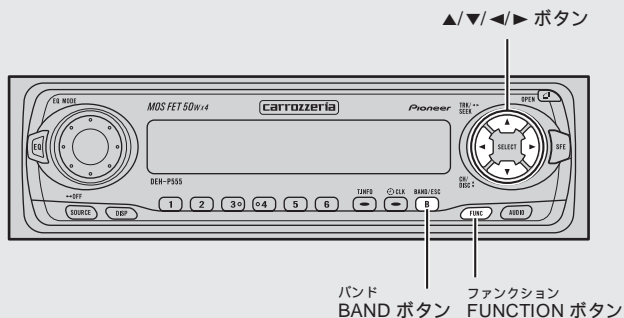
## 4 記憶させる

▲ボタンを押す



約2秒間表示され、記憶したことを知らせます。

BANDボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。



マルチCD  
7

## 記憶させた曲だけ再生する

ITS再生

ITS記憶 (E マルチCD 31 ページ) で記憶させた曲だけを再生することができます。

**1** リピートモードにして再生範囲を選ぶ (E マルチCD 28 ページ)

選んだ再生範囲内でITS再生が行われます。

**2** ITS再生モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(E マルチCD 27 ページ)



**3** ITS再生をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



ITS再生が始まり、記憶させた曲だけが再生されます。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ITS再生中に表示されます。

### メモ

手順1で選んだ再生範囲内に、記憶させた曲がない場合は、“ITS EMPTY”が約2秒間表示されて、ITS再生は行われません。



マルチCD

8

## 記憶させた曲を1曲ずつ記憶から消す

ITS消去 (1曲ごと)

記憶させた曲を1曲ずつ消すことができます。

### 1 ITS再生をONにする

( マルチCD ⑦)

### 2 消去したい曲を再生する

◀または▶ ボタンを押す

( ここだけで④ 17ページ)

### 3 ITS入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ

( マルチCD ② 27ページ)



### 4 消去する

▼ ボタンを押す



次に記憶されている曲

再生していた曲が記憶から消去され、次に記憶されている曲が再生されます。

BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

#### メモ

現在の再生範囲内に記憶させた曲がなくなった場合は、“ITS EMPTY” が約2秒間表示されて、ITS再生がOFFになります。

マルチCD

9

## 記憶させた曲をCDごとに記憶から消す

ITS消去 (CDごと)

記憶させた曲をCDごとに消すことができます。

### 1 消去したいCDを再生する

▲または▼ ボタンを押す

( ここだけで④ 16ページ)

ITS再生がONになっているときは、ITS再生をOFFにしてください。( マルチCD ⑦)

### 2 ITS入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ

( マルチCD ② 27ページ)



### 3 消去する

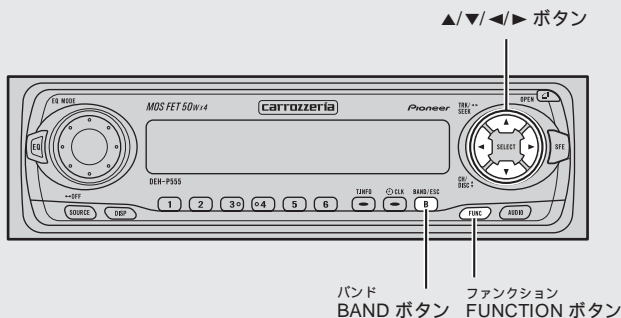
▼ ボタンを押す



約2秒間表示され、消去されたことを知らせます。

BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

マルチCDでCDを聞く



## マルチCD 10 CDのタイトルを記憶させる

タイトル入力

CDのタイトルを表示させる (☞ マルチCD ① 36 ページ) ために、あらかじめタイトルを記憶させておきます。

### タイトル表示について

タイトル表示は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

CDにタイトルをつけるとタイトルリスト (☞ マルチCD ③ 38 ページ) で聞きたいCDをさがすこともできます。

「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など) では、「CD TEXT」にあらかじめ収録されているCDタイトルで同様にタイトルリスト (☞ マルチCD ③ 38 ページ) をすることができます。

タイトルは10文字まで入力できます。

記憶はCDごとに行われます。CDを入れ換えても、そのCDの記憶は消えません。

タイトルは、ITS (☞ マルチCD ⑥ 31 ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

### 1 タイトルを入力したいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す  
(☞ ここだけで④ 16 ページ)

### 2 タイトル入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ  
(☞ マルチCD ② 27 ページ)



約2秒間表示されます。

### ご注意

「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など) に「CD TEXT」をセットしているときは、タイトル入力モードには切り換わりません。(「CD TEXT」に収録されているCDタイトルは変更できません。)

### 3 タイトルを入力する

入力する位置を選ぶ

◀または▶ ボタンを押して入力したい位置にカーソルを移動させる

- ▶ : 右に移動させるとき
- ◀ : 左に移動させるとき



入力する位置でカーソルが点滅します。  
10文字まで入力できます。

入力する文字を選ぶ

▲または▼ボタンを押す

- ▲ : 次の文字を選ぶとき
- ▼ : 前の文字を選ぶとき



選んだ文字が点滅します。

文字は空白 ( \_ ), アルファベット ( A ~ Z ), 記号 ( \* , + , - , / など ), 数字 ( 0 ~ 9 ) の中から選ぶことができます。

### 4 入力が終わったら 10文字目を点滅させる



余ったところを空白にして、10文字目を点滅させます。

### 5 入力したタイトルを記憶する

▶ ボタンを押す

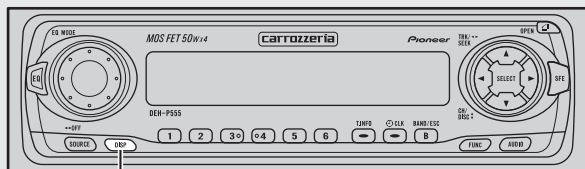


入力位置の点滅が終わり、入力したタイトルが記憶されます。

BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

#### メモ

タイトル入力中 (文字が点滅しているとき) にBAND ボタンを押すと、詳細設定モードが途中で解除されます。(この場合、入力中のタイトルは記憶されません。)



ディスプレイ  
DISPLAY ボタン

マルチCD  
**11**

## CD のタイトルを 表示させる

ディスクタイトル表示

タイトル入力 (☞ マルチCD ⑩ 34 ページ) で入力したCDのタイトルを表示させることができます。

### 1 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す  
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

再生経過時間表示



タイトル表示



再生経過時間表示に戻る

### メモ

タイトルが入力されていないCDで表示を切り換えると、“NO TITLE”が表示されます。

マルチCD  
**12**

## 「CD TEXT」のタイトル や歌手名を表示させる

タイトル表示 / タイトルスクロール

「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など) に「CD TEXT」をセットしたとき、ディスクタイトル、曲名などを表示させることができます。一度に10文字まで表示することができます。また、隠れている文字を順に表示させることもできます。

チェック 「CD TEXT」に対応しているマルチCD  
(「CDX-P670」など) の機能です。

### 「CD TEXT」について

「CD TEXT」とは、CDのタイトル/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記マークのついているCDは、「CD TEXT」です。(下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。)



表示切り換え

1 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す  
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

再生経過時間表示

ディスクタイトル (ディスク名)

ディスクアーティストネーム (歌手名)

トラックタイトル (曲名)

トラックアーティストネーム (歌手名)

再生経過時間表示に戻る

例) ディスクタイトル表示



再生中の「CD TEXT」に記憶されているディスクタイトルが表示されます。

メモ

トラックアーティストネーム (歌手名) などが記憶されていないCDで表示を切り換えると、「NO TA-NAME」などが表示されます。

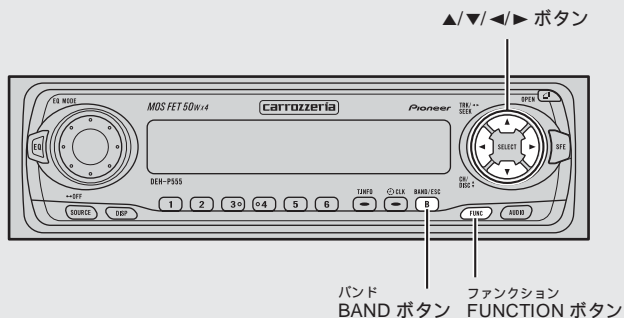
隠れている文字を表示する

1 隠れているタイトルを表示する

DISPLAY ボタンを2 秒以上押す



隠れている文字が順に表示されていきます。



マルチCD  
13

## タイトルを見て聞きたいCDをさがす

タイトルリスト

CDのタイトルを見ながら、聞きたいCDを選ぶことができます。

### 1 タイトルリストモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ  
( マルチCD 27ページ)



約2秒間表示されます。

### 2 聞きたいCDを選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 次のCDのタイトルを表示させるとき
- ◀ : 前のCDのタイトルを表示させるとき



記憶されているタイトルが表示されます。  
また、そのCDのCD番号が点滅します。

### 3 選んだCDを再生する

▲ ボタンを押す




選んだCDが再生されます。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

CD再生を一時停止することができます。

## 1 ポーズモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ  
( マルチCD 27 ページ)



## 2 CD再生を一時停止する

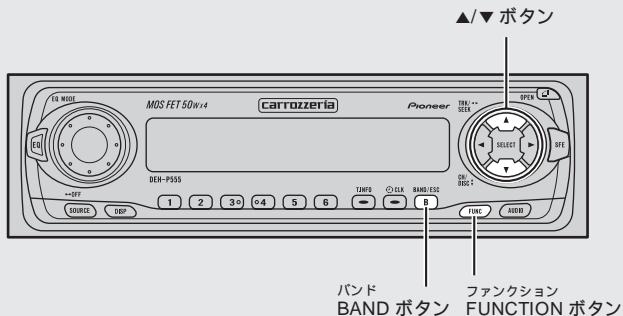
▲ ボタンを押す (▼ ボタンで再生)



BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



一時停止中に表示されます。



## マルチCD 15 CDの音質を調整する

COMP / DBE

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりすることができます。

チェック COMP/DBE機能の付いたマルチCDプレーヤーで操作できます。

### COMPについて

COMPとは、Compression (コンプレッション)の略です。大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

### DBEについて

DBEとは、Dynamic Bass Emphasis (ダイナミックバスエンファシス)の略です。DBEは、車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。

## 1 COMP切り換えモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

( マルチCD ② 27 ページ)



現在のCOMP/DBEの状態が表示されます。

### ご注意

COMP/DBE機能のないマルチCDを組み合わせたときは、“NO COMP”が表示されて、操作ができません。

## 2 機能を選ぶ

▲または▼ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

COMP OFF

COMP 1 (コンプレッション 1)

COMP 2 (コンプレッション 2)

COMP OFF

DBE 1

DBE 2

最初のCOMP OFFに戻る

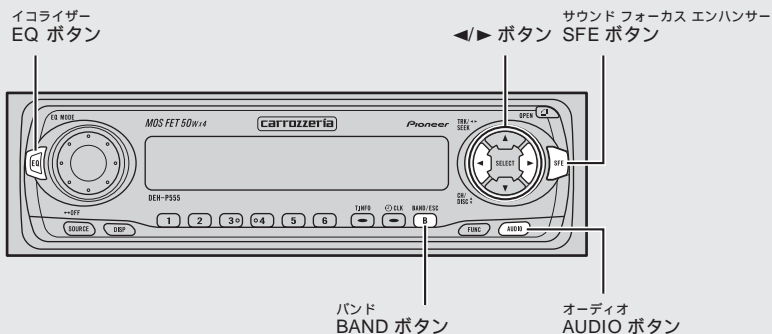
BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

### メモ

COMP、DBEともに1より2の方が効果が大きくなります。







## 音の調節

## 1

## お好みの音の空間に設定する

SFE

ボーカルや楽器などの音像を明確にし、自然で心地よい音の空間を手軽に演出することができます。さらに乗車位置を選択することで、よりお好みにあった設定にすることができます。

## SFE について

FRT1は、フロント出力の高音域と、リア出力の低音域を押し上げます。

FRT2は、フロント出力の高音域・低音域と、リア出力の低音域を押し上げます。(低音域の押し上げは、フロント/リア共通です。)

## 1 SFE モードを切り換える

SFE ボタンを押す



FRT1のときは、“F1”、FRT2のときは“F2”が表示されます。

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

FRT1-HI            FRT1-LOW

SFE OFF            FRT2-HI

CUSTOM            FRT2-LOW

## 2 乗車位置を切り換える

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 右に移動させるとき
- ◀ : 左に移動させるとき



L (左)、C (中央)、R (右)の中から選ぶことができます。

## メモ

SFEとはSound Focus Enhancer (サウンドフォーカスエンハンサー)の略です。

FRT1、FRT2ともに、“LOW”より“HI”の方が効果が大きくなります。

“CUSTOM”には、低音、高音をお好みに合わせて調節したSFEモードが記憶されます。(音の調節 78 47ページ)

## イコライザーカーブを選ぶ

あらかじめ用意されたイコライザーカーブの中から好みのイコライザーカーブを選ぶことができます。

### CUSTOM1 について

“CUSTOM1”には、お好みに合わせて調節したイコライザーカーブがソースごとに記憶されます。(内蔵CDとマルチCD、1枚型MDとマルチMDは、同じ設定になります。)

“CUSTOM2”以外のカーブを選んでいるときに調節すると、“CUSTOM1”に記憶されます。

### CUSTOM2 について

“CUSTOM2”は、すべてのソースに共通したイコライザーカーブで、お好みに合わせて調節することができます。

“CUSTOM2”を選んでいるときに調節すると、調節したカーブが新しい“CUSTOM2”として記憶されます。

## 1 イコライザーカーブを切り換える

EQ ボタンを押す



ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

POWERFUL      NATURAL

SUPER BASS      VOCAL

EQ FLAT      CUSTOM1  
( 音の調節 **5** 45 ページ)

CUSTOM2 ( 音の調節 **5** 45 ページ)

### メモ

交通情報 ( その他 **4** 54 ページ) を受信しているときは、イコライザー調節モードには切り換わりません。

## オーディオ調節モードの切り換えかた

音を調節するときは、オーディオ調節モードを切り換えて操作します。

## 1 オーディオ調節モードを切り換える

AUDIO ボタンを押す  
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

音量バランス調節モード  
( 音の調節 **4** 44 ページ)

イコライザー調節モード  
( 音の調節 **5** 45 ページ)

低音調節モード ( 音の調節 **7** 47 ページ)

高音調節モード ( 音の調節 **8** 47 ページ)

ラウドネスモード ( 音の調節 **9** 48 ページ)

サブウーファーモード ( 音の調節 **10** 49 ページ)

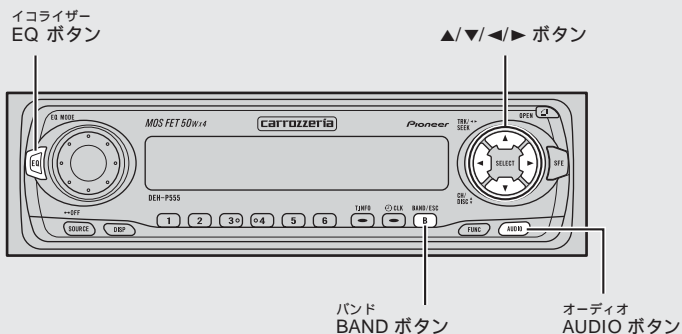
サブウーファー調節モード  
( 音の調節 **10** 49 ページ)

SLA モード ( 音の調節 **11** 50 ページ)

音量バランス調節モードに戻る

### メモ

オーディオ調節モードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)  
サブウーファーモードは、リア出力の設定 ( その他 **10** 58 ページ) を “FRT+S/W” にしているときだけ切り換わります。  
サブウーファー調節モードは、サブウーファーモードをONにしているときだけ切り換わります。  
ラジオのFMを聞いているときは、SLAモードには、切り換わりません。

音の調節  
4

## 前後左右の音量バランスを調節する

## フェーダー / バランス

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節することができます。

## 1 音量バランス調節モードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ  
( 音の調節 ③ 43 ページ)



## 2 音量バランスを調節する

前後を調節する

▲または▼ボタンを押す

▲ : 前を強めるとき

▼ : 後ろを強めるとき



前後のバランスはF15 ~ R15の範囲で調節できます。

左右を調節する

◀または▶ボタンを押す

▶ : 右を強めるとき

◀ : 左を強めるとき



左右のバランスはL9 ~ R9の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。


## メモ

リア出力の設定 ( その他 ⑩ 58 ページ) を “FRT+S/W” にしたときは、前後の音量バランスを調節することはできません。

# お好みに合わせてイコライザーカーブを調節する

あらかじめ用意されたイコライザーカーブを調節することで、お好みの音質をつくることができます。

## 1 調節したいイコライザーカーブに切り換える

EQ ボタンを押して選ぶ  
( 音の調節 ② 43 ページ)

## 2 イコライザー調節モードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ  
( 音の調節 ③ 43 ページ)



## 3 調節したいバンドを選んでレベルを調節する

バンドを選ぶ

◀または▶ ボタンを押す



LOW (低音) MID (中音) HIGH (高音)  
の中から選ぶことができます。

レベルを調節する

▲または▼ ボタンを押す

▲ : 強めるとき

▼ : 弱めるとき




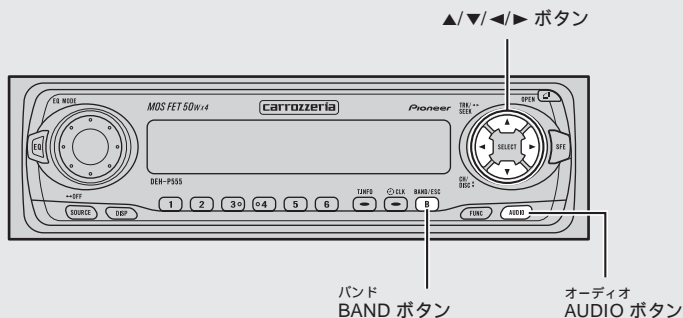
イコライザーカーブを調節すると表示される範囲は -6 ~ +6 の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

### メモ

“CUSTOM2” 以外のカーブを選んでいるときに調節すると、“CUSTOM1” に記憶されます。また、イコライザーカーブ表示は、調節時に選んだカーブが表示されます。

交通情報 ( その他 ④ 54 ページ) を受信しているときは、イコライザー調節モードには切り換わりません。



## 音の調節

## 6

## イコライザーカーブを細かく調節する

イコライザーカーブには3つのバンドがあり、バンドごとに中心周波数とQファクターを調節することができます。

## 1 イコライザーカーブ詳細設定モードにする

AUDIO ボタンを2秒以上押す

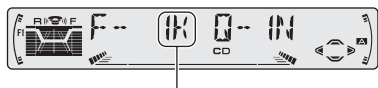


## 2 バンドを選んで中心周波数とQファクターを調節する

バンドを選ぶ

AUDIO ボタンを押す

ボタンを押すごとにLOW、MID、HIGHが切り換わります。



表示 (中心周波数 [Hz])	選ばれているバンド
40、80、100、160のいずれか	LOW
200、500、1k、2kのいずれか	MID
3k、8k、10k、12kのいずれか	HIGH

中心周波数を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す



選んだ周波数が表示されます。

選んだバンドのQファクター (イコライザーカーブの傾き) を選ぶ

▲または▼ ボタンを押す

▲ : 強めるとき

▼ : 弱めるとき



2N、1N、1W、2Wの中から選ぶことができます。

BAND ボタンを押して、イコライザーカーブ詳細設定モードを解除してください。

## メモ

“CUSTOM2”以外のカーブを選んでいるときに調節すると、“CUSTOM1”に記憶されます。交通情報 (☎ その他④ 54ページ) を受信しているときは、イコライザーカーブ詳細設定モードには切り換わりません。

## 低音を調節する

バス

低音のカットオフ周波数とレベルを調節することができます。SFE (音の調節① 42ページ) がFRT1のときは、低音調節はリア出力だけに効果があります。

## 1 低音調節モードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ  
(音の調節③ 43ページ)



## 2 カットオフ周波数とレベルを調節する

周波数を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 高い周波数を選ぶとき

◀ : 低い周波数を選ぶとき



周波数は40、63、100、160 (Hz) のの中から選ぶことができます。

レベルを調節する

▲または▼ ボタンを押す

▲ : レベルを大きくするとき

▼ : レベルを小さくするとき



レベルは - 6 ~ + 6 の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

## メモ

SFE がFRT1のときは、フロント出力の低音を調節することはできません。

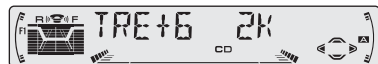
## 高音を調節する

トレブル

高音のカットオフ周波数とレベルを調節することができます。SFE (音の調節① 42ページ) がFRT1またはFRT2のときは、高音調節はフロント出力だけに効果があります。

## 1 高音調節モードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ  
(音の調節③ 43ページ)



## 2 カットオフ周波数とレベルを調節する

周波数を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 高い周波数を選ぶとき

◀ : 低い周波数を選ぶとき



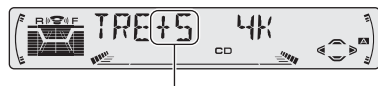
周波数は2k、4k、6k、10k (Hz) のの中から選ぶことができます。

レベルを調節する

▲または▼ ボタンを押す

▲ : レベルを大きくするとき

▼ : レベルを小さくするとき

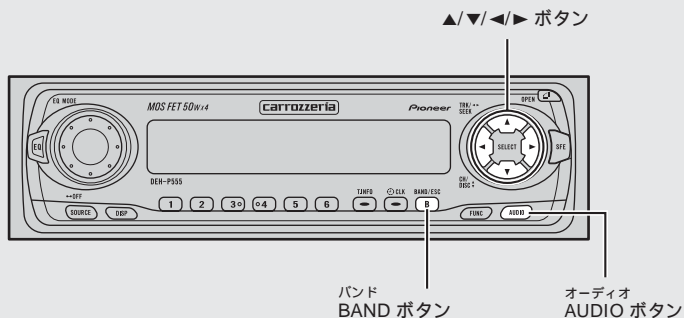


レベルは - 6 ~ + 6 の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

## メモ

SFE がFRT1またはFRT2のときは、リア出力の高音を調節することはできません。



音の調節  
9

## 小音量時の音にメリハリをつける

ラウドネス

小さな音量で聞いているときの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

### 1 ラウドネスモードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ  
(☞ 音の調節 ③ 43 ページ)



### 2 ラウドネスをONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



ラウドネスがONのときに表示されます。

### 3 ラウドネスの効果を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

- ▶ : 効果を大きくするとき
- ◀ : 効果を小さくするとき



LOW (弱)、MID (中)、HI (強) の中から選ぶことができます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。



本機では、リアスピーカー端子または、RCA出力端子に接続したサブウーファーの調節を行うことができます。

### カットオフ周波数について

50、80、125 (Hz) から選んだ周波数以下の音域がサブウーファーから出力されます。

## 1 サブウーファーモードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ  
( 音の調節  43 ページ)



## 2 サブウーファーを ON にする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで OFF)



サブウーファーが ON のときに表示されます。

## 3 サブウーファー調節モードにする

AUDIO ボタンを押す



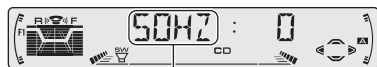
## 4 カットオフ周波数とレベルを調節する

周波数を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : 高い周波数を選ぶとき

◀ : 低い周波数を選ぶとき



周波数は 50、80、125 (Hz) のの中から選ぶことができます。

レベルを調節する

▲ または ▼ ボタンを押す

▲ : レベルを大きくするとき



▼ : レベルを小さくするとき



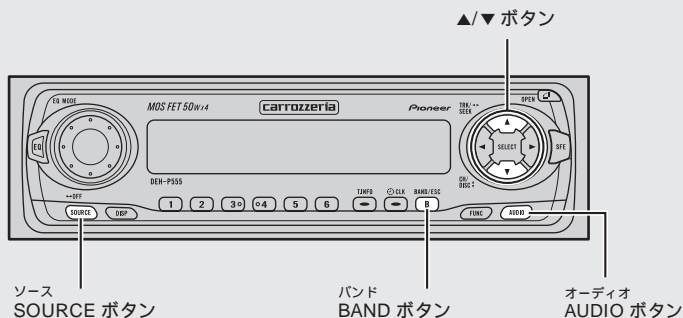
レベルは - 6 ~ + 6 の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

### メモ

リア出力の設定 ( その他  58 ページ) を “FRT+REAR” にしたときは、サブウーファーモードには切り換わりません。

サブウーファーを OFF にしたときは、サブウーファー調節モードには、切り換わりません。

音の調節  
11

## 各ソースの音量の違いをそろえる

SLA

ソースを切り換えたとき音量に違いが出ないように、FMの音量を基準にして各ソースの音量の違いをそろえることができます。

## 1 FMを受信し、FMの音量を確かめる

SOURCE ボタンを押す  
( ここだけで④ 14 ページ)

## 2 調節したいソースに切り換える

SOURCE ボタンを押す  
( ここだけで① 10 ページ)

## 3 SLA モードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ  
( 音の調節③ 43 ページ)



## 4 レベルを調節する

▲または▼ ボタンを押す

▲ : レベルを大きくするとき

▼ : レベルを小さくするとき



- 4 ~ + 4 の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

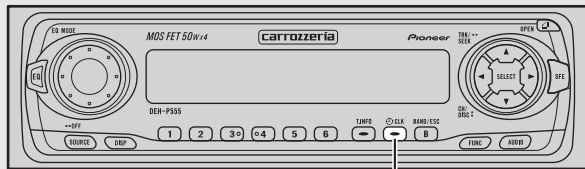
## メモ

SLAとはSource Level Adjuster(ソースレベルアジャスター)の略です。

FMの音量を基準に他のソースとの音量差を調節するため、FMを聞いているときは、SLAモードに切り換えることはできません。

AM、テレビ、CD、MD、External(エクスターナルユニット)、AUX(外部機器)のそれぞれの音量差を調節することができます。なお、内蔵CDとマルチCD、1枚型MDとマルチMD、およびAMと交通情報( その他④ 54 ページ)は同じ設定になります。





クロック  
CLOCK ボタン

その他  
1

## 瞬時に音量を小さくする

アッテネーター

車内の会話が聞き取りにくいときに、瞬時に音量を小さくすることができます。

1

### 瞬時に音量を小さくする

リモコンのATTボタンを押す  
( はじめに① 7ページ)

ボタンを押すごとにON/OFFします。



アッテネーターがONのときに点滅します。

アッテネーターがONのときは、音量が約1/10になります。

その他  
2

## 時計を表示させる

時計表示

本機の電源のON/OFFにかかわらず、時計を表示させることができます。

1

### 時計を表示する

CLOCKボタンを押す

ボタンを押すごとにON/OFFします。



時計表示

### メモ

本機の電源がONの場合は、時計表示のときに他の操作をすると、時計表示は一度解除されますが、約25秒後に時計表示に戻ります。

時計を合わせるには ( その他⑥ 55ページ)

## よく使う機能を直接操作する

### ダイレクトファンクション

リモコンのDFボタンを押すと、よく使う機能をソースごとに直接操作することができます。内蔵CD・マルチCD・1枚型MDでポーズ、マルチMDでリピート、ラジオでBSM、テレビでBSSMを操作することができます。

#### 内蔵CD、マルチCD、1枚型MDのとき

##### 1 再生を一時停止する

リモコンのDFボタンを押す  
(☞ はじめに① 7ページ)

ボタンを押すごとに機能がON/OFFします。  
(☞ 内蔵CD⑤ 20ページ、マルチCD⑩ 39ページ、  
1枚型MDの取扱説明書)

#### マルチMDのとき

##### 1 リピート再生を切り換える

リモコンのDFボタンを押す  
(☞ はじめに① 7ページ)

ボタンを押すごとにリピート再生が切り換わ  
ります。(☞ マルチMDの取扱説明書)

#### ラジオのとき

##### 1 BSM を始める

リモコンのDFボタンを2秒以上押す  
(☞ はじめに① 7ページ)

BSMが始まります。(☞ ラジオ① 22ページ)

#### メモ

BSM中にリモコンのDFボタンを押すことで、BSM  
を途中解除することもできます。

#### テレビのとき

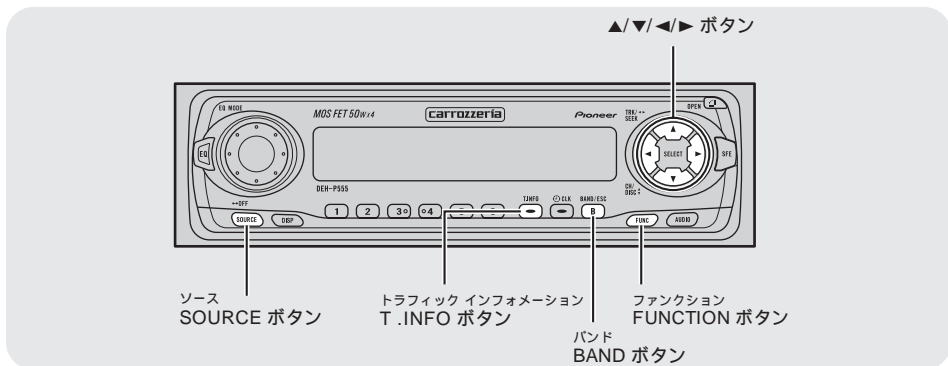
##### 1 BSSM を始める

リモコンのDFボタンを2秒以上押す  
(☞ はじめに① 7ページ)

BSSMが始まります。  
(☞ テレビの取扱説明書)

#### メモ

BSSM中にリモコンのDFボタンを押すことで、  
BSSMを途中解除することもできます。



## 4 その他 交通情報を受信する

トラフィックインフォメーション

AM 1,620 kHzまたは1,629 kHzの交通情報を、簡単に受信することができます。

### 1 交通情報を受信する

T.INFO ボタンを押す



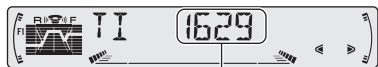
AM 1,620 kHzの交通情報を受信します。

### 2 放送に合わせて周波数を切り換える

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 1,629 kHzにするとき

◀ : 1,620 kHzにするとき



受信周波数

### 3 交通情報の受信をやめる

T.INFO ボタンを押す

交通情報を受信する前の状態に戻ります。

#### メモ

この機能は、電源がOFFのときでも、どのソースからでも操作できます。

交通情報を受信しているときに音量を調節すると、交通情報用の音量として設定することができます。交通情報を受信すると、自動的に交通情報用のイコライザーカーブに切り換わります。交通情報の受信をやめるとイコライザーカーブは、元の状態に戻ります。

交通情報を受信しているときは、イコライザー調節モードには切り換わりません。

その他  
5

## 初期設定モードの切り換えかた

外部機器やディマーの設定をするときは、初期設定モードを切り換えて操作します。

### 1 電源をOFFにする

SOURCE ボタンを1秒以上押す  
(☞ ここだけで① 10 ページ)

### 2 初期設定モードにする

電源がOFFのときに、FUNCTION ボタンを2秒以上押す



初期設定モードになります。

### 3 初期設定モードを切り換える

FUNCTION ボタンを押すボタンを押すごとに次のように切り換わります。

時計調節モード (☞ その他⑥)

AUX (外部機器) モード (☞ その他⑦ 56 ページ)

ディマーモード (☞ その他⑨ 57 ページ)

リア出力設定モード (☞ その他⑩ 58 ページ)

ハンズフリーモード (☞ その他⑪ 59 ページ)

TEL ミュート/アッテネートモード  
(☞ その他⑫ 59 ページ)

TEL スタンバイモード (☞ その他⑬ 60 ページ)

時計調節モードに戻る

#### メモ

初期設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。(解除すると、電源がOFFになります。) TEL ミュート/アッテネートモードは、ハンズフリーモードがONのときは切り換わりません。 TEL スタンバイモードは、ハンズフリーモードがOFFのときは切り換わりません。

その他  
6

## 時計を合わせる

時計を合わせることができます。

### 1 時計調節モードにする

電源がOFFのときに、FUNCTION ボタンを2秒以上押す



### 2 時計の設定をする

時または分を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す



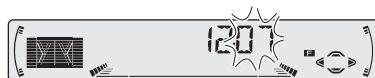
押すごとに時または分が切り換わります。

時刻を合わせる

▲または▼ ボタンを押す

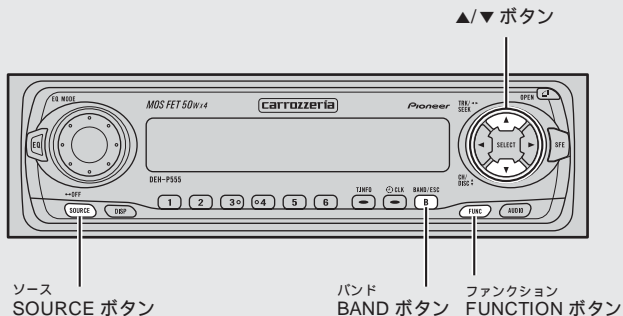
▲ : 時刻を進めるとき

▼ : 時刻を戻すとき



分を調節すると、0秒からカウントが始まります。

BAND ボタンを押して、初期設定モードを解除してください。



その他  
7

## 外部機器の音声を聞く

### AUX (外部機器) の設定

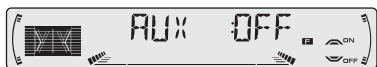
本機にDATやVTRなどの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。

#### 外部機器との接続について

別売のRCA/IP-BUSインターコネクター「CD-RB20」または「CD-RB10」を使うと、RCA出力のあるDATやVTRを、外部機器として本機に接続することができます。詳しくは、RCA/IP-BUSインターコネクターの説明書をご覧ください。

### 1 AUX (外部機器) モードにする

電源OFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ (☞ その他 55 ページ)



### 2 AUX (外部機器) の設定をONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

### 3 ソースをAUXにする

SOURCEボタンを押して選ぶ (☞ ここだけで 10 ページ)



ソースをAUXに切り換えると、外部機器の音声が出力されます。



その他

8

## 外部機器の名称を入力する

接続した外部機器の名称を入力することができます。

### 1 ソースをAUXにする

SOURCE ボタンを押して選ぶ  
(☞ ここだけで① 10 ページ)



### 2 外部機器の名称入力モードにする

FUNCTION ボタンを2 秒以上押す



約2秒間表示されます。

### 3 外部機器の名称を入力し、記憶させる (☞ マルチCD⑩ 34 ページ)

CDタイトル入力の手順3～5を参照し、同様の操作で外部機器の名称を記憶させてください。

例) “ DAT ” を入力した場合



“ AUX ” の表示のかわりに、入力した名称が表示されます。

その他

9

## 夜間のディスプレイの明るさを切り換える

ディマーの設定

夜間、周囲が暗くなったときにディスプレイがまぶしくならないように、車のライトをONにするとディマーが働き、ディスプレイが暗くなります。

### 1 ディマーモードにする

電源OFFのときにFUNCTION ボタンを2 秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ (☞ その他⑥ 55 ページ)

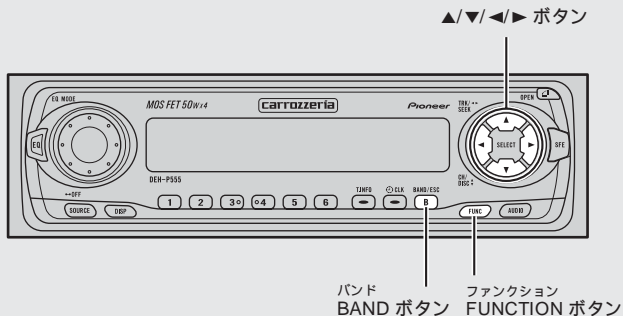


### 2 ディマーの設定をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



BAND ボタンを押して、初期設定モードを解除してください。



その他  
10

## リアの出力方法を変える

### リア出力の設定

リア出力に接続するスピーカーの種類に合わせて切り換えます。フルレンジスピーカーを接続する場合は、“FRT+REAR”に切り換えます。また、サブウーファーを接続する場合は、“FRT+S/W”に切り換えます。リア出力の設定を“FRT+S/W”に切り換えると、リアスピーカー端子にサブウーファーを直接接続することができます。

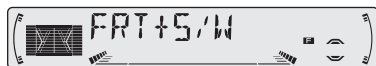
### 1 リア出力設定モードにする

電源OFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ (※ 他55ページ)



### 2 リアの出力方法を選ぶ

- ▲または▼ボタンを押す
- ▲ : FRT+REAR (フルレンジのとき)
- ▼ : FRT+S/W (サブウーファーのとき)



BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

### メモ

リア出力の設定は、リアスピーカー端子とRCAリア出力を同時に切り換えます。どちらか一方のみを切り換えることはできません。

## 携帯電話のハンズフリー機能について

ハンズフリー

別売のパイオニア製ハンズフリーシステムキット「CD-HF1」を本機と組み合わせると、ハンズフリーで通話することができます。

### 本機のハンズフリーシステムについて

携帯電話の発着信に合わせて、聞いているソースから電話モードに自動的に切り換わります。携帯電話の発話ボタンを押して電話に出ると、ハンズフリーで通話することができます。相手先の音声は、スピーカーから出力することができます。

発着信等の携帯電話のコントロールは本機からはできません。

詳しくはハンズフリーシステムキット「CD-HF1」の取扱説明書をご覧ください。

## 1 ハンズフリーモードにする

電源OFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ(☞ その他⑤ 55ページ)



## 2 ハンズフリーモードをONにする

▲ボタンを押す(▼ボタンでOFF)



BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

## 携帯電話のミュート/アッテネート切り換え

別売のパイオニア製ハンズフリーシステムキット「CD-HF1」を使用しないときに、携帯電話の発着信に合わせて、聞いているソースの音声をミュートするか、アッテネートするかを選ぶことができます。

### 1 TELミュート/アッテネートモードにする

電源OFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ(☞ その他⑤ 55ページ)



### 2 発着信時の設定を選ぶ

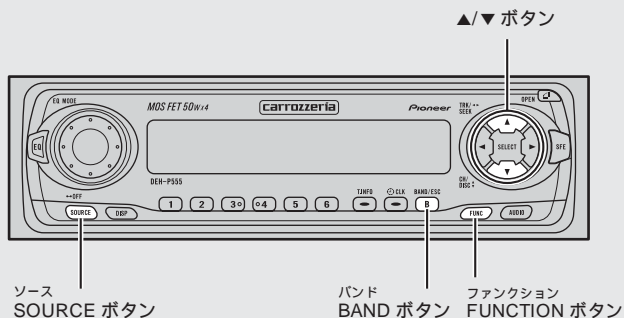
- ◀または▶ボタンを押す
- ◀ : MUT (ミュート)
- ▶ : ATT (アッテネート)



BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

### メモ

ハンズフリーモードをONにしたときは、TELミュート/アッテネートモードには切り換わりません。



その他  
13

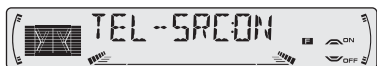
## TELスタンバイについて

TELスタンバイ

ラジオやCDを聞いていないときでも、電話の待ち受けを可能にします。

### 1 TELスタンバイモードにする

電源OFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ (※ その他 55 ページ)



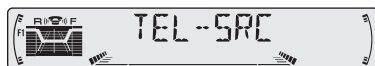
### 2 TELスタンバイモードがONになっていることを確認する

▲/▼ボタンでON/OFFすることができます。

BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

### 3 ソースをTELスタンバイにする

SOURCEボタンを押して選ぶ  
(※ ここだけで 10 ページ)



ソースをTELスタンバイにすると電話の待ち受けをすることができます。

### メモ

ハンズフリーモードをOFFにしたときは、TELスタンバイモードには切り換わりません。TELスタンバイモードをOFFにすると、ソースをTELスタンバイにすることができなくなります。

ミュート機能のある製品 (パイオニア製ナビゲーションシステム「AVIC-D9100」など) と本機を組み合わせると、その製品からミュート信号を受け取っているときだけ、ミュートまたはアッテネート機能が働きます。ミュート機能が働いているときの音量は“0”で、アッテネート機能が働いているときの音量は、もとの音量の約1/10です。ミュートまたはアッテネート機能が解除されると、自動的にもとの音量に戻ります。

#### メモ

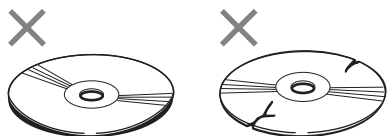
ハンズフリーモードがOFFのときにミュートまたはアッテネート機能として働きます。ミュートとアッテネートは、お好みに合わせて切り換えることができます。(☞ その他⑫ 59ページ)

使用できるCDについて

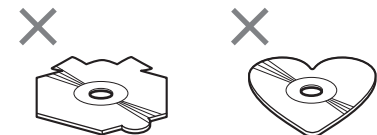
下記マークの付いているコンパクトディスク（光学式デジタルオーディオディスク）をご使用ください。



ひび、キズ、そのりのあるCDは使用しないでください。



特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



音楽用CDレコーダーで録音したもの以外のCD-Rディスクは、正常に再生できない場合があります。

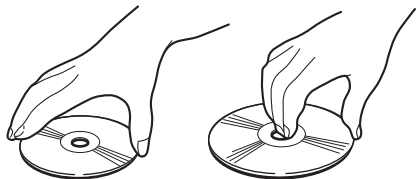
音楽用CDレコーダーで録音した音楽用CD-Rディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。

本機はCD-Rディスクのトラックスキップ機能に対応しています。スキップ指定された曲を飛ばして再生します。

CD-Rディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。

取り扱い上のご注意

CDは、下図のように、信号記録面（虹色に光っている面）をさわらないように持ってください。



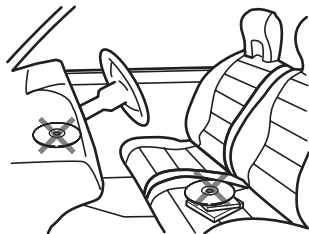
CDにキズを付けないでください。

CDにシールなどを貼り付けしないでください。



保管上のご注意

直射日光の当たるところや高温になるところには、CDを保管しないでください。



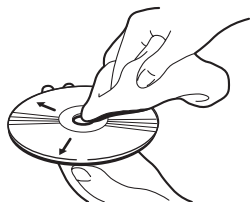
CDがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

メモ

製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

## お手入れについて

CDが汚れたときは、柔らかいきれいな布でCDの内周から外周方向へ軽くふいてください。



アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。またベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



当社では、CD用のクリーニングキット「JV-D11」を別売しています。カーステレオ販売店でお買い求めください。

## CD再生の環境について

走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。

寒いとき、ヒーターを入れた直後にCD再生を始めると、本機内部の光学系レンズやCDに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。

このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。CDに付いた露は柔らかい布でふいてください。

故障かな？  
と思ったら  
修理を依頼される前に、  
次の表の内容をチェック  
してください。



チェックしても  
直らないときは  
保証書とアフターサービ  
ス (P. 67 その他 ⑩ 67 ページ)  
をお読みになり、修理を  
依頼してください。

共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクタが 正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、 もう一度確認してください。 (P. 取付説明書)
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れた ヒューズを同じ容量のものと交換してく ださい。(P. 取付説明書)
音が出ない。 音が小さい。	音量を下げている。	音量を上げてください。 (P. ここだけで ② 13 ページ) (P. ここだけで ③ 15 ページ) (P. ここだけで ④ 17 ページ)
	アッテネーターが ON に なっている。	アッテネーターを解除してください。 (P. その他 ① 52 ページ)
	前後の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (P. 音の調節 ④ 44 ページ)
前または後ろのスピーカ ーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (P. 音の調節 ④ 44 ページ)
左または右のスピーカ ーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (P. 音の調節 ④ 44 ページ)



## ラジオ


症 状	原 因	処 置
ラジオの受信中、“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください。 (☞ ここだけで④ 15 ページ)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 (☞ ここだけで④ 15 ページ)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。 (☞ ここだけで④ 15 ページ)

## CD

症 状	原 因	処 置
CD再生中、大きな雑音が出る。 CDの再生が途中で止まる。	CDに大きなキズやそりがある。	他のCDと交換してください。良くなればCDの不良です。
	CDが極端に汚れている。	CDの汚れをふき取ってください。 (☞ その他⑤ 63 ページ)
	CDにくもりや水滴がついている。	CDの曇りや水滴をふき取ってください。 (☞ その他⑤ 63 ページ)
	CDの裏表を逆にしてセットしている。	CDのタイトル面を上にしてセットしてください。(☞ ここだけで② 12 ページ)

## こんなメッセージが表示されたら

CDを正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処 置
「ERROR-11」「ERROR-12」 「ERROR-17」「ERROR-30」	CDが汚れているとき。	CDの汚れをふき取ってください。 (  その他 16 63 ページ)
	CDにキズやひびがあるとき。	CDを交換してください。
「ERROR-14」	追記型CD (CD-R) を録音しないまま使用しているとき。	追記型CD (CD-R) は、録音してからお使いください。
「ERROR-10」「ERROR-11」 「ERROR-12」「ERROR-14」 「ERROR-17」「ERROR-30」 「ERROR-A0」	電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、CD再生を一度やめてから、もう一度CD再生にしてください。
「ERROR-44」	すべての曲がトラックスキップ指定されているとき。	CDを交換してください。
「HEAT」	本機の内部温度が高くなったとき。	内部温度が下がるまでお待ちください。

### メモ

マルチCD再生中に、上記以外のエラーメッセージが表示されたときは、マルチCDの取扱説明書をご覧ください。

### 保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

### 保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

### 保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

### 保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

### 補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

### ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

## 本機の操作の概要

本機の操作のまとめです。ひと通りの操作が終わった後、操作を忘れたときなどにお使いください。

### ふだん使う機能の操作のしかた

ふだん使う機能は、▲/▼/◀/▶ ボタンおよびBANDボタンで操作します。

聞いているソース 押すボタン	CD、MDを聞いているとき	ラジオ、テレビを聞いているとき
◀または▶ ボタン	選曲、早送り/早戻し	自動選局、手動選局
▲または▼ ボタン	再生するディスクの切り換え(マルチCD、マルチMDを接続している場合のみ)	記憶させた放送局の切り換え
BAND ボタン	—————	バンド (FM/AM) の切り換え

### 便利な機能の操作のしかた

ふだん使う機能以外は、オペレーションモードを切り換えて操作します。オペレーションモードには5つのモードがあり、次の手順で操作します。

手 順	モード	ファンクション モード	詳細設定 モード	初期設定 モード	オーディオ 調節モード	イコライザーカーブ 詳細設定モード
1	それぞれの モードにする	FUNCTION ボ タンを押す	FUNCTION ボタンを2 秒以上押す	電源がOFF のときに FUNCTION ボタンを2秒 以上押す	AUDIO ボ タンを押す	AUDIO ボタン を2秒以上押す
2	機能を切り換える	FUNCTION ボタンを押す			AUDIO ボ タンを押す	AUDIO ボタンを 押す(バンド切り 換え)
3	機能をON/OFFする または 項目を選ぶ	▲または▼ボタンを押す				
		◀または▶ボタンを押す				
4	それぞれの モードを解除する	BAND ボタンを押す				

### それぞれのモードで操作できる機能について

- ファンクションモード** : 内蔵CDのリピート再生 (☞ 内蔵CD② 18ページ) やマルチCDのスキャン再生 (☞ マルチCD④ 29ページ) など、それぞれのソースの便利な機能进行操作できます。
- 詳細設定モード** : ラジオの放送局名選択 (☞ ラジオ⑤ 25ページ) やマルチCDのタイトル入力 (☞ マルチCD⑩ 34ページ) など、便利な機能の詳細を設定できます。
- 初期設定モード** : 外部機器 (☞ その他⑦ 56ページ) などの設定ができます。
- オーディオ調節モード** : フェーダー/バランス (☞ 音の調節④ 44ページ) など、音質に関する調節ができます。
- イコライザーカーブ** : イコライザーカーブを細かく調節できます。  
**詳細設定モード** (☞ 音の調節⑥ 46ページ)

### ガイド表示について

本機の操作を行っているとき、ディスプレイを見て操作ができるように、ディスプレイにガイド表示が出ます。



FUNCTION、AUDIO、▲/▼/◀/▶ ボタンの中で、操作可能なボタンが表示されます。

表示の例	内容
	▲/▼/◀/▶ ボタンで操作できます。
	▲または▼ボタンで機能のON/OFFができます。また、AUDIOボタンで機能を切り換えることができます。
	◀または▶ボタンで項目を選ぶことができます。また、FUNCTIONボタンで機能を切り換えることができます。

### CD プレーヤー部

形式 : コンパクトディスク  
オーディオシステム  
使用ディスク : コンパクトディスク  
信号  
フォーマット : サンプル周波数 : 44.1 kHz  
量子化ビット数 : 16 ビット直線  
周波数特性 : 5 ~ 20,000 Hz (± 1 dB)  
S/N : 94 dB (1 kHz)  
(IHF-A ネットワーク)  
ダイナミック  
レンジ : 92 dB (1 kHz)  
チャンネル数 : 2 (ステレオ)

### FM チューナー部

受信周波数帯域 : 76.1 ~ 89.9 MHz  
実用感度 : 9 dBf (0.8 μV/75 、  
モノラル、S/N : 30 dB)  
S/N 50 dB  
感度 : 14 dBf  
(1.4 μV/75 、モノラル)  
S/N : 70 dB (IHF-A ネットワーク)  
高調波歪率 : 0.3 %  
(65 dBf入力、1 kHz、ステレオ)  
周波数特性 : 30 ~ 15,000 Hz (± 3 dB)  
ステレオ  
セパレーション : 40 dB (65 dBf入力、1 kHz)

### AM チューナー部

受信周波数帯域 : 522 ~ 1,629 kHz (9 kHz)  
実用感度 : 18 μV (S/N : 20 dB)  
実効選択度 : 50 dB (± 9 kHz)

### アンプ・オーディオ部

最大出力 : 50 W × 4  
50 W × 2ch/4 + 70 W × 1ch/2  
(forサブウーファー)  
定格出力 : 22 W × 4  
(50 ~ 15,000 Hz、5 % THD)

#### イコライザー (3バンド パラメトリック

イコライザー : (LOW)  
周波数 : 40/80/100/160 Hz  
Qファクター : 0.35/0.59/0.95/1.15  
(+6 dB ブースト時)  
調整幅 : ± 12 dB  
(MID)  
周波数 : 200/500/1K/2K Hz  
Qファクター : 0.35/0.59/0.95/1.15  
(+6 dB ブースト時)  
調整幅 : ± 12 dB  
(HIGH)  
周波数 : 3.15K/8K/10K/12.5K Hz  
Qファクター : 0.35/0.59/0.95/1.15  
(+6 dB ブースト時)  
調整幅 : ± 12 dB

#### ラウドネス

コンター : LOW : 3.5 dB (100 Hz)  
3 dB (10 kHz)  
MID : 10 dB (100 Hz)  
6.5 dB (10 kHz)  
HIGH : 11 dB (100 Hz)  
11 dB (10 kHz)  
(ボリューム : - 30 dB)

#### トーン

コントロール : (パス)  
周波数 : 40/63/100/160 Hz  
ゲイン : ± 12 dB  
(トレブル)  
周波数 : 2.5K/4K/6.3K/10K Hz  
ゲイン : ± 12 dB

#### サブウーファー

出力 : 周波数 : 50/80/125 Hz  
スロープ : - 12 dB/oct.  
ゲイン : ± 12 dB

#### 負荷

インピーダンス : 4  
(4 ~ 8 [2 for 1ch] 使用可能)

#### プリアウト

最大出力レベル : 2.2 V  
出力  
インピーダンス : 1 k

---

## 共通部

使用電源 : DC 14.4 V  
(10.8 ~ 15.1 V 使用可能)  
アース方式 : マイナスアース方式  
最大消費電流 : 10.0 A  
外形寸法  
(取付寸法) : 178 (W) × 50 (H) × 162 (D) mm  
(ノーズ寸法) : 170 (W) × 46 (H) × 14 (D) mm  
質量 : 1.5 kg (コードユニット含まず)

---

## 付属品

コードユニット : 1  
取付ネジ類 : 1 式  
取扱説明書 : 1  
取付説明書 : 1  
安全上のご注意 : 1  
保証書 : 1  
ご相談窓口・  
修理窓口のご案内 : 1

---

### メモ

上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

## お客様ご相談窓口 (全国共通フリーフォン)

### カスタマーサポートセンター

カーオーディオ / カーナビゲーション商品のお問い合わせ窓口

 0070-800-8181-11

カタログのご請求窓口

 0070-800-8181-33

<ご注意> PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話、および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。  
修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内  
<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html>

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

© パイオニア株式会社 2000

< KMMZU/00I00000 > < CRA3077-A/JS >